

躍進

YAKUSIN

株式会社加藤組社内報「躍進」1985・Vol・1

住所／男鹿市脇本脇本字向山18の6 TEL／0185(25)2235(代)

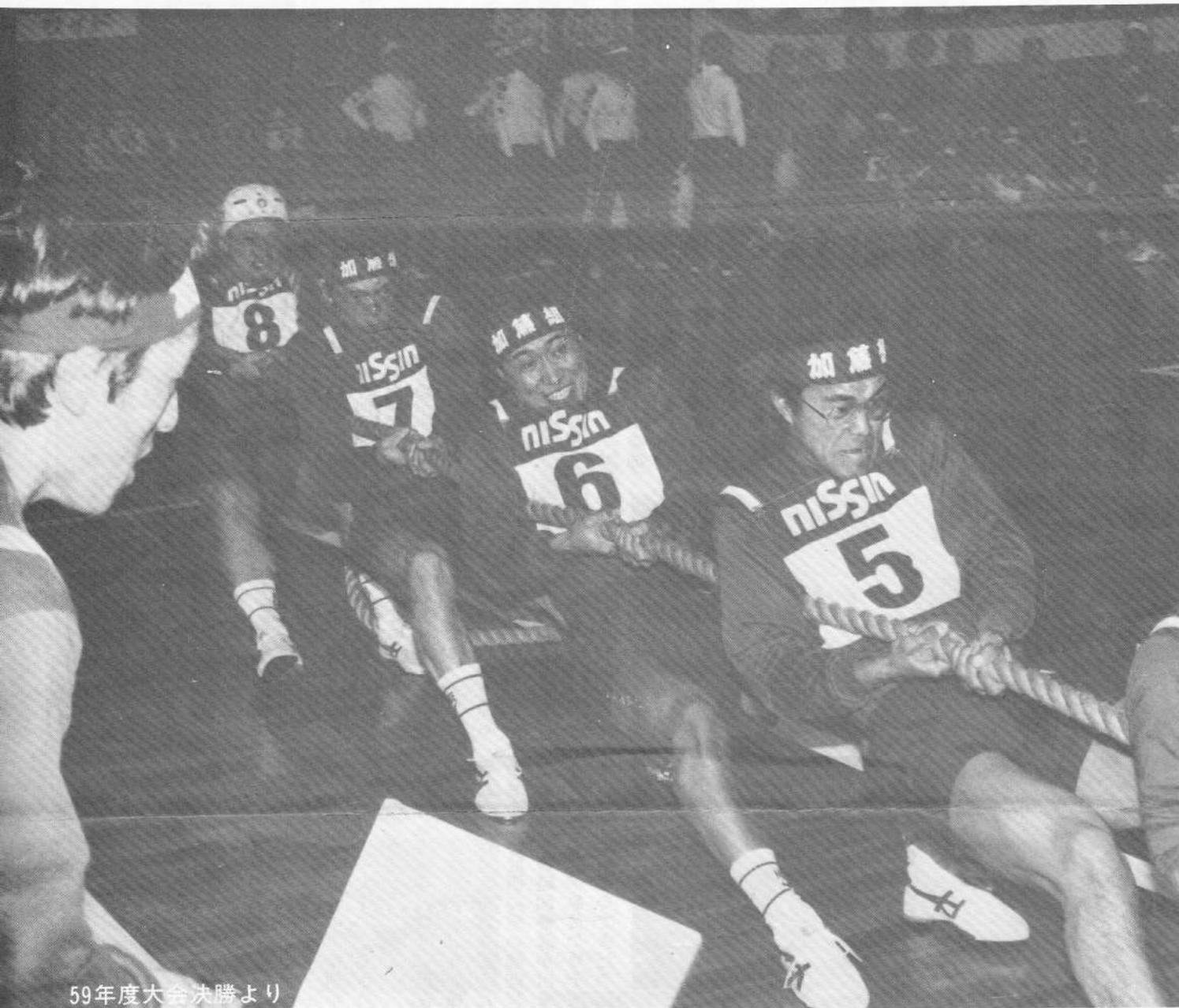
発行／株式会社加藤組 発行日／60年11月1日 印刷／秋田協同印刷株式会社

創刊号



株式会社 加藤組

光飯商事株式会社 日本アスコン株式会社
秋田ブロック工業株式会社 秋田建設運輸株式会社



59年度大会決勝より

V1への綱

体力の向上と互いの親睦を深めるために結成した加藤組綱引きクラブ「I・L・O・N・TUG鉄の綱」。昭和58年・59年の全国大会クラブチャンピオンの部で2年連続の優勝を果たした。かつてのオリンピック種目でもある綱引きを始め、3年。今、全国の4千以上にのぼる綱引きチームの頂点に立つ。現在部員数は26名。

仕事を終えてからの週3回のハードトレーニング。我社の社訓でもある「協力一致して事に当る」という信念を全うしてこそ成せる技である。

「たかが綱引き」簡単に考えていた一人一人が、パワーゲームの厳しさ、苦しさをまざまざと知らされた。「レディGO!!」の合図と共に満身の力を綱に与える。単なる一本の麻縄が生命を吹き込まれたかの如く、ヒーンと張りつめ、8人の力がひとつになる。

それは、なんのまやかさも手抜きもない技と力の勝負の世界。精根尽き果てるまで引き続けた全身に滴り落ちた汗は、厳しい練習に耐え抜き、勝利の喜びと、敗北の悔しさを克服した者が知る勝利の証

加藤組綱引きクラブは、全国大会優勝の夢を成し得る為今、また大きく燃えている。勝利へのレディGO!!

創刊にあたって

加藤組会長

加藤 義孝

「調和の精神を発揮し、協力一致して事に当ること」と社訓にもあるように、当社の今日を築いたのは人の和である。

このたびの社内報創刊は、その和をさらに広げ、お互いが今まで以上の連帯の絆で結ばれるためにも、大きな意義を持っている。

人の和を作るためには、自由な意思の疎通が欠かせないものである。そのため、社内報とは単なる社内での回覧板でなく、談論風発たる意見交換の場であることが求められる。特に、当社のようにグループ各社がそれぞれの役割を持って機能している場合、その意義はひとしおである。

激動の時代と言われる現在、社会は日々革新の波に洗われている。これからも我々は、現在の状況にあまみじることなく、あくなき挑戦を続けていかなければならない。

社内報創刊を一つの契機とし、これを有効に活用していくことによって、新たな活力を生み出されることを切に望む次第である。

レポート・我ら土木部

60年度上半期を振り返って...

昭和60年度も上半期が過ぎ

工事受注も一応の区切りがつかしました。今年度は前半の工事発注が予算編成の問題等で大幅な遅れをとったのが、後半まで響き、7・8・9月の後半期に、大量の工事が発注されました。10月に入った現在、大小60件余りの工事に取りがかかっておりますが、特に舗装係は、大潟堤防、国道7号線の大規模工事と県単工事等の大量受注により、日夜休む暇もなく、大回転の作業が行なわれている。

今回は、土木部の総指揮者でもある加藤部長に、過去の体験記・現行の工事状況そして、土木部全般について報告してもらった。

また、現場を代表し、今年一級建築施工管理技師、一級建築士(学科)をこごとく制覇し、今、絶好調の建築課主任伊藤満さんの報告記です。

13年の月日の流れ

土木部長 加藤政雄

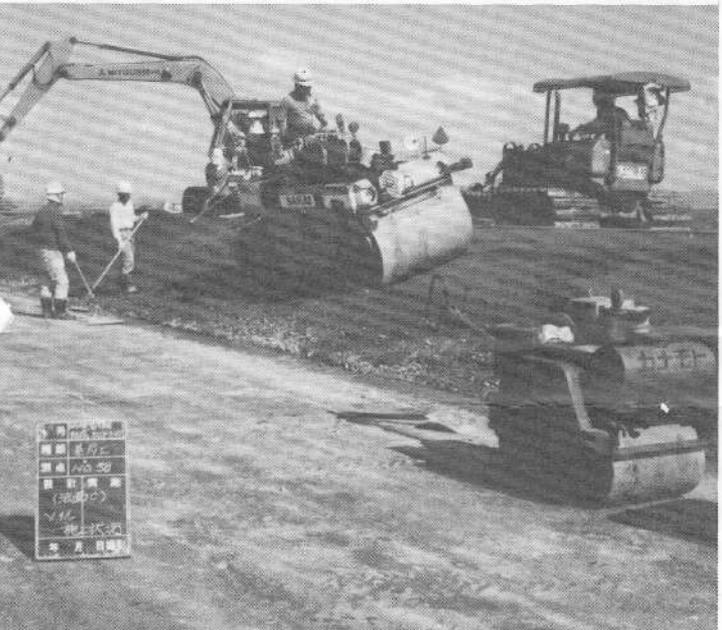
社内報を発行するとの事で原稿を依頼され、とまどいながらも、13年前と今を比較しながら、考えてみますとー私が、此の会社に入社したのは、昭和47年4月。すぐに港湾部に配属され、37t吊りクレーンと木造船の曳船をたよりに、工事をしている時代だった。その頃の港湾部は、受注高も少なく、職員といえ

ば私一人の本当に小さな係だった。しかし、当時の港湾事情から見ると、受注工事が多くなる事は間違いなく、当時の船団構成では、受注工事に応じて対応できないと思えば船起重機船等の増配の要望を御願いした。

幸いにも、会社も其の様に考えており、当時の会社側からみれば、一大決心で要された事と思う。

幸いして、56年12月に能代港灰捨護岸工事を受注、又58年からは、船川石油備蓄基地防波堤工事など大型工事を次々に受注し、職員、船員が一致協力して、此の難工事をそれなりの成果をあげ、事故もなく現在まで、来ている事は港湾課職員及び、船員の皆様方の努力と協力の賜と思う。

60年4月。会社の機構も変わり港湾部を廃止して土木部統合一本化され、それに依って私も土木部の配属となった。港湾工事に關しては、ある程度の知識もあつたが、こと舗装に關しては全くの素人で苦勞致している。



現在施工中大潟堤防(西部) 担当 伊勢谷 寿

土木部に移って早や7カ月になり、職員及び作業員の性格、能力等も解かりかけてきましたし、土木部の責任を一切あずかる者として、常々、思い、皆様に云っておきたい事は、「会社にとって利益をもたらすことのできるのは、現場だけしかない、現場しか有りえない」ということです。我々は、工事と戦う集団であり、早く・安く・美しくしかも、無事故で完成させる事が第一の条件のはず、集団によって成果をあげる事を考えれば、現在の複雑な作業員配置を一考する必要があると思う。日によって現場で作業する人間が変わると、今まで

社内を広く見つめて

代表取締役

加藤 義光

今、我々の会社を取りまく流れは幅広く、そして早い、そこに生きる我々は常に広い視野を持ち、その流れを見極めねばならない。

価値感が多様化し、ともすると自らのアイデンティティを失いがちな現代にあって重要なことは、自らの確固たる視点を持ちつつ、他の意見にも虚心坦懐に耳を傾け、さらに己を磨く糧とすることである。その意味からも、このたびの社内報創刊は大きな期待と責任を持っていると言えよう。

グループ各社によって、また所属する部所によって仕事の内容こそ違いはするものの、我々の目指すところは一つであり、二十一世紀へ向かう明日の当社のありかたは、各部の積極的なコミュニケーション無しには成り立たないものである。

全体が密な連携のもとに一層結束を固め、また社を、そして社内を広く見つめるためにこの社内報が大いに活用されることを期待する。

の体験からでは、けっして良い結果は生まれないはず。マイナスの面だけが出てきているはず。

集団で作業を進めるには、どうしても「集団作業員の一人一人までに完成までの仕事を説明し、理解させるか。」

今の現場状況を見ているとどうしても其の事が、解らない様な気がする。同時に一日の施工量を充分に理解させ次の日に仕事が残らない様に努力する事が大事な事だ。

社長が常々言っている「男鹿の加藤組から、秋田の加藤組に、更に東北の加藤組」へ飛躍するには、皆様の力が必要なわけです。

其のためにも、土木部社員一同各自に与えられた仕事に対して、自覚と責任のある行動をとってもらいたい。

単に、与えられた仕事をこなしていくだけにとどまらず少しでも前向きな姿勢で、努力の積み重ねをしてもらいたい。

最後に、今後、益々工事受注も増え皆様にも相当数の工事が出回っていくと思えます。早期完成を目指し頑張ってください。

「計画的に、今日の仕事は明日に残すな。」

以上加藤土木部長の報告記でした。

雲中での作業

男鹿市最高峰の中で 建築課第一係主任、伊藤満

工事名「加茂搬送局舎新設建築その他工事。工期「60年8月10日～61年3月10日まで。工事金額「六千七〇〇万円。

この工事、防衛庁発注で、今年度のバツジ計画による各基地の増築です。全部で8棟の増築・新築工事であり、工事完成後は、全て土で埋め戻してしまいう独特の工事です。

また、施工業者全員の氏名を登録し、基地内の出入りは、完全にチェックされている為未登録の場合は門前払いとなります。現場は、標高七百メートルにあり、日本海・秋田港・石油備蓄基地・能代方面の眺

めは最高です。

しかし、11月上旬には、初雪もある為、現在工程上、遅れに遅れている状態です。力を入れている状態です。

現在の工事状況は、各棟捨コンクリート完了し、基礎鉄筋組立中のもので、基礎コンクリート打設完了のものなどいろいろありますが、各工種の流れが途切れないように注意しております。

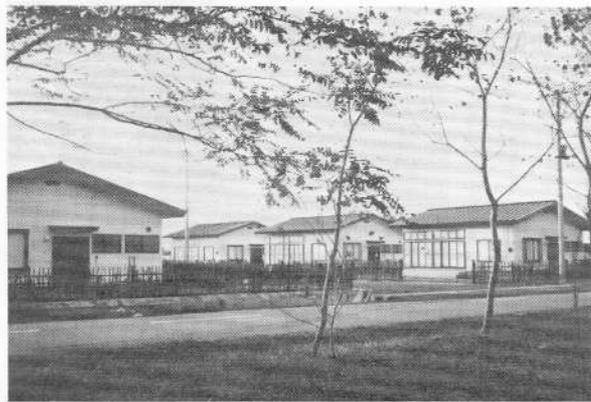
工程が遅れている為、すでに第一回目の実施工程表を変更し、工程管理には四苦八苦です。先日、配筋検査がありました。鉄筋のかぶり厚さ定着長さ、開口補強筋の有無など、かなり指摘され、次の検査には、この様な事のないように、毎日の施工管理に、時間を取るようにする予定です。

でもあり、貴重な体験として頑張っています。

最後にみなさんへ――。

時間があつたら、ぜひ、本山に登ってみてください。尚、本社より車で、40分です。くれぐれもオーバーヒートのない様に、お祈り致します。現場への連絡方法は、加茂第33航空自衛隊、電話番号三三三〇三九(内線三三八)。

が自社無線31号です。海上の天気予報は、この山から見るのが一番です。天気を知りたい方、又は、キノコを取ってもらいたい方「加藤組31号」にラブコールの事。



勝 白岩 担当 (五里合) 風景 現場工事 舗装

工事写真は、工事の部分のみ撮影し、レーダー等の基地を撮らないように指示されています。後、ネガも没収されます。毎日、雲の中で仕事をしている状態です。気が持たない状態です。防衛庁の仕事をやらせてもらうのも、何かの縁



報告

第14回

大運動会

場所 男鹿東中学校
日時 9月8日(日)
グラウンド



僅差・逆転で **緑組** が堂々 **優勝** 飾る!!

チームワークの勝利

大会後の抽選は総額「〇〇万円。」の超豪華版です。恒例の大運動会が、去る9月8日、東中学校のグラウンドで行なわれました。

「運動会は雨」のジンクス通り前日から降り出した雨に内心「ホッ」とした9月7日。「これは中止だナ!!」の声に

まずは、一安心。ところが、朝6時、電話の音に目をさますと、「グラウンド集合」の声前日の寝不足に、足どり重く会場に行くと、そこは田植えでもできそうな水ビタシ!!

伊勢審判長の「水くみ用意」のツルの一声（ツルらしさからぬお姿ですがー。）で若手社員十数名による、競技前のバケツリレーでスタート。

膝をむきだした姿で、バケツで水をくみ上げては投げ捨てる。それが終わると、砂かけ競技の始まりです。早くも大会前にグロッキー気味の選手が続出。午前9時30分。何事もなく会場に集まる選手の姿とは

ほど遠く、競技前に勝負アリ。火花が打ち上げられ入場行進が始まると、帰り支度を始

める人も出ています。

競技の方は、いくら日頃から鍛えているとはいえ、年令にはどうしても勝てず、若手をうまく起用し、村全体の人が集った緑組（飯ノ町）が、着々とポイントを加える。

後半まで1位を守り続けた赤組（脇本・船越地区）は、最後に息が途だえ、逆転され連続優勝を阻止されました。

1・2位の熾烈な首位争いをツマミに下位グループは、酒の早飲み競争、そのスピードは——。（緑・赤組がかなうはずはありません——。）

競技が終わり、大太鼓と共に盆踊りの輪が大きく広がり、踊りの余韻が漂う中おまちかね、抽選会の始まりです。そのころ会場には、4百余の人が集まり、各賞の番号が読み上げられる度に、「当たった」の喜びの声とはずれた人の深いため息が会場をつつみま

す。競技には一等の洗濯機は船川の清野さんに、他多数の賞品が30名近くのみなさんに当りました。

尚、今年の成績は次の通り、一位・緑組、二位・赤組、三位・黄組の順でした。

▼レース前の勝利のサイン?



▲1位はこれで決まりました!!

研修旅行

11月2日(土)

Let's GO!! 「花の東京」



日次	日(曜)	行	往	備
1	11/2	船川	秋田 (特)あけほの2号	車中泊
2	11/3	上野駅 東京温泉 朝食・入浴 6:12 6:30 7:00 皇宮 8:00 9:00 9:50 上野公園 (西洋美術館 科学博物館) 11:40 NHK放送センター 12:20		
		渋谷レストラン505 (明治神宮車庫) 12:30 湯 13:20 温泉温泉 14:10 (雷門・仲見世) 15:00 15:40 サンシャイン60 16:50 ホテル 17:30 (新宿) 京王プラザホテル		
3	11/4	ホテル 9:20 国会議事堂 10:00(衆議院) 11:00 上野 やまびこ63号 12:00 盛岡 (特)かまわ7号 15:21 15:31 秋田 17:28 17:40 2台 船川 19:00		3 B2R DDM 18:15 18:30 18:45 19:00 19:15 19:30 19:45 19:55 20:00 20:15 20:30 20:45 21:00 21:15 21:30 21:45 22:00 22:15 22:30 22:45 23:00 23:15 23:30 23:45 24:00

この計画は、10月30日現在のスケジュールです。多少行程が変更になる場合があります。



優勝チーム (新ちゃんチーム)

最優秀選手賞は、紅投手 湊牧子(日本アスコ) 社内球技大会が、10月6日 当社野球場で行なわれました。 当日は、朝から小雨もよりのばつとしない天気でしたがこの日集まった50人の球児達は4チームに分れ、技と力の対決に、汗を流しました。 社長の「ケガのない様に」という心配をよそに、各チーム、各選手とも、トロフィーに目がくらみ、ハッスルプレーの連続。しかし、実力と気持ちの差は、あまりにも大きすぎ、珍プレーの続出。 試合の結果は、伊藤新次郎率いる「新ちゃん」チームが他のチームを、投打共に圧倒リーグ戦、トーナメント戦を無傷の5戦全勝で勝ちぬぎ、見事に優勝しました。

またこの日は、個人賞も多大にされ、優秀選手賞は、2度も打球を身体で受けとめ、5試合をひとり投げぬいた紅投手、湊牧子(日本アスコ) 秋田工場)さんが、加藤組社長賞は、加藤睦子(加藤組)さんに、他6人がそれぞれ個人賞に輝やいた。



絶好球だわ!!

大会終了後、パツと散ったはずの選手が、ポツポツ集まったところは室内球技場。みんな球技が好きですね!! 勝てばいいんですが?!

試合終了後、雨にぬれながら、女性軍と柴崎司主任の心をこめて作った「トン汁」をすすり、大会も無事終了したわけです。尚、結果は次の通りです。

- 第1位 伊藤新次郎チーム
- 第2位 渡部邦明チーム
- 第3位 秋本純功チーム
- 第4位 夏井 博チーム

女の子のピッチャーだから少しは加減して打ってくれると思ったら、みんな、その気はないみたいでしたネ。 手と足に二度もボールを受けてしまっ。来年は、もう少し加減して下さいね!! モチロン、今年も優秀選手を狙いますよ!!



優秀選手賞 湊牧子のハナシ



うーん、うまい/俺の目を見ろ!!

秋季ソフトボール大会
 伊藤新次郎チーム無傷の完全優勝!!
 60年10月6日
 加藤組球場
 午前7時プレイボール

の完工高 43億円突破

土木工事部間堂々第5位にランク

昭和59年の完工工事高の調査結果が、発表されました。この調査は某報道機関が毎年行なっているもので、調査の範囲を原則として、59年度決算期（59年4月～60年3月）を対象として行なわれているものです。

現在の我が社が、全体的レベルでみて、どの位置にあるかを知る為にも、また、自分たちの置かれた立場をより一層に認識する為にも重要な事と思います。

全般的な総合部門をみますと、1位から10位までの10社は、中央4社、県北3社、県南3社と、きれいに分け、5位から10位までは、3億円弱の接近した数字がでています。総合部門上位10社をみてみますと、第一に目につくのが、秋田男鹿南秋の、受注高が急上しており、100社中39社と我

昭和59年 工事完工高発表

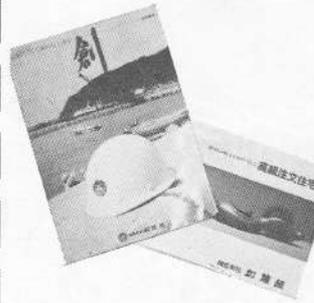
順位	会社名	所在地	完工高(千円)	職員数
1	同和工業建設	秋田	11,443,125	267
2	中田建設	能代	9,924,203	140
3	伊藤建設	大館	8,206,959	199
4	山科建設	矢島	6,172,560	122
5	多田建設	小坂	4,407,995	134
6	村田建設	本庄	4,401,214	72
7	加藤建設	男鹿	4,316,959	102
8	伊藤建設	横手	4,272,033	126
9	秋田土木	秋田	4,162,744	178
10	清水建設	男鹿	4,110,852	88

営業部だより

会社案内「創」完成

営業の充実化を計り

この度、営業部では営業の充実化と積極化を計り、会社案内「創」と、住宅用営業パンフレットを発行した。



現在の営業部員は、7名、

これまでの、営業の方針を一段と充実化し、営業本来の方向を見通す為にも、2つのパンフレットの利用価値が大きな意義を与える事となる。

営業部村上課長の話によれば、「現在の営業は、対役所へのウェイトを重視しており、対民間の営業に関しては他同系会社にずいぶん見劣りする。本来の営業は、情報を耳で得るのではなく、あくまでも足で得る事」と話しています。また、「工事は自分で造るこ

と。」と云っている様に、少しでも、受注件数が増える様にたててもらいたい。

しかし、「営業において、優れた製品、信用が最も大切な事であり、現場に携わるみなさん、一人一人が、今、一番の営業をしているわけで、常に、営業活動をしている。」という様に、身近なことで、考えてもらいたいと思うわけです。

今後とも、より一層の技術の向上、会社発展の為に、協力一致して、ガンバろう、営業部一同

ファミリー紹介



鎌田惣市郎さん一家

土木部舗装係長(54才)

妻・フキ子 長男・肇(29才) 二男・行毅(23才)
長女・久美子(21才)

昭和44年4月入社 勤続16年

会社に入社してもう16年にもなると云いますから、会社と一緒に苦楽を共にした感じがしますね。今、大潟堤防と一緒に工事をしていますが、キャリアを十分に踏んだ鎌田係長にしばしば怒られるんです。「段取りが、悪い」って。しかも、舗装工事の専門家らしく、合材を一目見て、合材の良し悪しがわかる所等、教えてもらうところが多くあります。

若い社員の多い舗装係ですので、我々社員にどんどん今までの知識を与えてほしい我々も少しでも、鎌田係長の知識を盗みたいと思います。

そう云えば、娘さんも会社に入社したそうですし、係長のカゲ口も言えなくなったのが残念です。今の忙しい時期を頑張って乗り切りましょう。

土木部土木主任 伊勢谷 寿



伊勢義雄さん一家

営業部長(51才)

妻・誠子 長男・義仁(19才) 二男・喜久仁(16才)

昭和29年2月入社 勤続31年

「加藤組と共に人生を歩んでいっちゃった人」当社創立以来その発展に誠心誠意努力し、そのお顔の皺一本一本に加藤組の年輪が刻み込まれているような気がします。

部長は、社内・外の表裏を熟知し、外においてはその威風堂々たる体軀、声量で他業者を圧倒し、権謀術数渦巻く営業の最前線においてもその手腕は「加藤組に伊勢有り」と怖れられている存在です。

内においては、仕事面での厳しさを除けば温厚な人柄です。家庭に入れば愛妻家で子煩悩、カラオケを歌うとその体格に似合わずか細い声。まったく愛すべき人です。

最近少々お腹が出て太り気みのようですが、ご健康に注意し、業界No.1を目指し今後も頑張ってください。

営業部営業係長 森本 次男

全 県 第 7 位

加藤組の、競争数も増えている事がわかる。

一方、総合順位もさることながら、土木工事部門では、着々と工事高を伸ばし36億3、330万円と一位に8億円及ばなかったものの、5位と順当に延びてきた。

しかし「昨年度、58年の日本海中部地震による大量の災害復旧工事と、能代火力、秋田石油備蓄と順調に、受注した結果と見ており、今後

の見通しを考えると、決して樂觀できない数字。」(伊勢営業部長。)と思われる。

今年度の受注工事高は現在集計中ではあるが、40億程度の受注高で、昨年より約10%のダウンを余儀なくされた。

社長が常日頃から言う、「加藤組は、もう、秋田の加藤組から、東北の加藤組になるのだ。」という言葉を、より一層肝に命じ、今後の活躍を現場の関係者一同にお願いしたい。

土木部門上位5社

1位	山科建設	4,494,026円
2位	同和工務	4,106,139円
3位	中田建設	3,821,676円
4位	清水組	3,729,210円
5位	加藤組	3,633,380円

第2回測量

競技会実施

優勝・港湾課チーム飾る

10月2日、秋晴れのもと、

第2回社内課別対抗測量大会が当社野球場にて行なわれた。前回の横断測量から、今回は一転し、実業務の原点である。平板測量・製図及び、丁張り掛けの3種目に日頃から鍛えた腕と能力を競いあった。

競技は、港湾課・土木課・建築課の3チームで争われ、各課長、係長の厳選なる審査の結果、港湾課チームが、スピード・図面の正確さでは、多少の点数を落としたものの

3人のチームワークと丁張り等の正確さで建築課チームをわずかに、4点差でおさえ見事に優勝した。

結果は次の通り

- 第一位 港湾課チーム
- 第二位 建築課チーム
- 第三位 土木課チーム

主催した技術管理部市川部長の談。「今回の競技は、現場での最も基本となる内容でもあり、最も重要なポイントを持つ競技だ。小さな、犯してはならないミスが多少あったのと、欠席者が多かった事が残念な事だ。」

研修報告記

土木部 高橋孝男

去る6月6日～6月17日に

行われた。「第15回J.C青年の船」は、「明日への国際平和を目指して、そして心の平和を越えて」というテーマのもとに、日本人青年、在日留學生、海外招聘青年合わせて約五百名が参加して行われました。参加者は11チームに別れてのチーム行動。主な活動としては、船内活動として、世界青年会議、多方面から講師を招いての研修、全員が参加した運動会、チーム別の討論会等で行いました。

また、船外活動としては、香港及び、台湾での地元青年会議所の人々との交換会、

青年会議所主催 第15回J.C青年の船に参加して

また台湾でのチャリティーコンサート、同じく台湾での民間宅を訪問してのホームホスピタリティ等で行いました。以上の活動を通じて、私達で話し合われ、感じた事は、外国人青年の国際平和、政治経済等に対する認識の高さ真剣さであり、それに対して、私達日本人青年の認識不足、関心の低さでした。

そして、世界平和、飢餓地域等への援助等国际間に対しての、一番の出発点は、宗教、習慣等の違いを認識した上で相手を理解するという事であり、そこからコミュニケーションが生まれるという事です。例えば、講師の先生が言った「空腹の人に魚を与えるのではなく、釣り竿を与える」という言葉です。最後に「J.C青年の船」に参加して感じた事は普段ほとんど感心しなかった国際平和・国際問題という事を話し合う場にあふれて、今迄の認識の不足という事を第一に感じました。しかし、現実に我々が国際平和等という問題に直接参加できるわけはありません。

会社訪問①

日本アスコン株式会社(秋田工場)

秋田市飯島「浜梨工業団地」は大小26の工場が並んでおり、日本アスコン株式会社秋田工場は其の一角に陣取っている。真新しいオレンジ色のプラント、銀色の高さ20mの煙突は遠くから望め、正門右側の標札は、金色に輝き重々しく工

場の顔を表わしている。昭和56年4月、男鹿工場の廃止と共に出荷能力、防塵対策、全自動式と誘導当社プラントは、東北一のアスファルト合材製造の名声をうけ設置された。正門を入ると、左手中央は芝生張りに黒松が植え

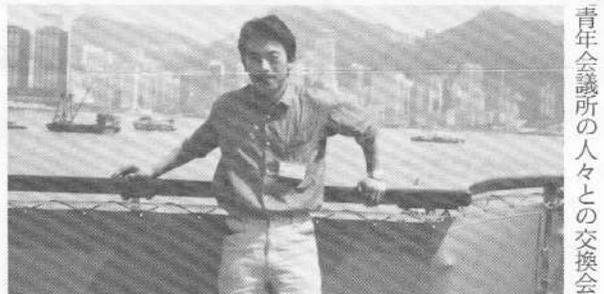
ており、手入れの行き届いた枝と、特に目に映る濃い緑の葉は、樹勢の勢いを表し若い工場の発展を見守るかの如く、根をはえる。

構内は面積約一万平方メートル広々とした中、砂と碎石を主とした作業に粉塵と化した山を社員一丸となって環境美化推進に努めた結果、構内一円、ゴミひとつない、整然とした姿を今も誇っている。

工場の設備は、新潟鉄工N P一五〇〇A型で、アスファルト合材一時間当り出荷能力90t全自動電気操作型である。

毎日、明るいムードの秋田工場です。

△秋田工場スタッフ▽
高橋工場長・秋元純巧
佐藤謙一・鈴木芳春
湊 牧子 以上5名



船上から見る香港の街

です。ですから、我々は自分の出来る事に積極的に参加し、周囲の事にも注意を払ってゆくのが最良の事と承知しています。(以上原文のまま)

ほ・ほ・え・み ガール

秋田ブロック工業株式会社

戸嶋弘子さん

昭和40年5月21日生満20才
県立秋田西高校卒
昭和59年4月入社



家族6人(父・母・兄・妹・祖母)
会社にもだいたい慣れたし、もっともっと仕事を覚えたい。
「恋人は？」の質問に、ポッと顔を赤くした、笑顔の絶えない人です。

紹介者

伊藤 嗣雄くん

秋田ブロック 営業課



戸嶋弘子さんを紹介します。

4月に秋田ブロックに配属され、一緒の事務所にいるわけですが、本当に明るい人です。一日中笑っていた「よくアゴの骨がズレないものだ」と感心してます。でもこんなに明るさが似合う人っていないですネ。持ち前の明るさと、人一倍の責任感で何なく仕事を片ずける我社のアイドルです。

加藤組のあゆみ

① 創立から現在に至るまで

労務賃 男3円の時代に!!

昭和19年、戦争末期に、現加藤会長が創立する。当時、加藤会長を班長とした。熊谷組(本社東京)加藤班は、十数名の小規模な組織だった。(その頃、秋田工業を卒業したばかりの、佐藤副社長も、名を連ねている。)秋田には、それほど大きな仕事もなかった為、もっぱら仕事は東京方面が多かった。現在の、江戸川区・荒川区付近を中心に、建設省が発注した、地下ケーブル工事を熊谷組の下請け業者として、請負っていた。現場で働く労務者は主に、上野周辺にいる失業者をやと、賃金の代わりに、ドンブリ飯を食わせ、工事を進めたという。(当時は、貴重品で、ヤミ米として秋田から運んでいた。)

男鹿市に帰った昭和25年頃、事務所を現在の本宅においた。男鹿市に戻った加藤組が、初めて工事をしたのが、旧船越中学校の校舎新築工事だった。

その頃、学校をもつ地域は、ほとんどなかったが、教育の町としての名の高かった船越町は、先陣を切り校舎建築を行なった。しかし、材料難がアダとなり、東京から持ち帰った金は、全部使い果たした。2万円以上の赤字工事だった。当時、作業員の労務賃は男が3円、女で1円50銭だった。ちなみに、佐藤副社長の初任給が、50円だった事を考えれば、赤字がいかに大きかったかがわかる。

(続)

行事予定

- 11月1日(金) 月例安全集会 AM6:30~
- 11月2日(土) 職員会議 PM3:00~
- 11月2日(日) 職員慰安旅行 (関東方面)
- 11月4日(月)
- 11月24日(日) 加藤杯綱引き大会 (会場 男鹿東中)
- 12月15日(日) 協力会総会(予定)

結婚おめでとう

加藤組

栗森 吉照 (28才) 総務部
中川 悦子 (24才)
挙式 11月13日

日本アスコ

秋本 純巧 (27才)
照井恵美子 (23才)
挙式 11月17日

お幸せに。

こんにちは



石川洋子ちゃん(長女)

はじめまして



加藤 孝くん(二男)

●うぶ声をあげた日

昭和60年9月1日

父 石川 守
母 孝子

昭和60年9月11日

父 加藤 久人
母 まち子

●どんな子供に育てたいですか?

明るく元気な、優しい子供に育ててほしい。

お父さんに似た素直な子供に育ててほしい。

伝言板

編集後記

「社内新聞発行」の指令が出たのが、10月の上旬。どれをどうやって作ったらよいのかもわからず、一人悩んでいたところに、現われたのが某印刷会社のM氏。専門家のアドバイスを受け出来上がった。加藤組社内報「躍進」がこの創刊号。みなさんからの、献身的な御協力のおかげで、無事完成今日発行する事ができました。とはいえ、全くの素人が文章構成、レイアウト、編集までこなすのは容易なことではなく、この創刊号にも若干の不行き届きがあることを、お許し下さい。

今回は、6名の方に原稿を依頼しましたところ、心よくお引き受け下さいまして、アリガトウゴザイマシタ!!

次回は、あなたのところに伺います。

その際は、ドーカひとつよろしくお願ひします。

10月の20日、野球の球納めを企画し、最終試合の日程を組んだところ、いつもなら10名はすぐ集まるメンバーがなぜか8名しか集まらず結局は試合中止。打率アップを目指した試合の為、少し心は沈みがち。年の終わりが確実に近づいているのが今もって感じたり日曜日でした。